



避難訓練 自助 共助 公助



9月4日(水)に、始業式の日から延期した避難訓練を行いました。9月1日は防災の日と言われ、各地で避難訓練が行われます。常磐小で行った避難訓練も、地震と火事の両方を想定して行いました。これはなぜかという、今から約100年前の1923年(大正12年)9月1日に発生した、関東大震災にちなんだものです。関東大震災では、ちょうど昼食時に地震が発生したことにより、火を使っていた家庭から出火し、地震による家屋の倒壊以上に火事によって多くの方が亡くなりました。



地震が起きた時間によって、避難経路や被害状況が変わってくるので、様々な場面を想定しておくことが重要になります。

防災に対して大切なのが、「**自助、共助、公助**」の三つです。

「**自助**」とは、家庭で日頃から災害に備えたり、災害時には事前に避難したりするなど、自分で守る事です。まず最優先することは、**自分の命を自分で守り**安全な場所にすぐ避難することです。ただし、地震の揺れが小さい場合や身の安全が確保できそうな場合は、すぐに火の元を確認して、火事から自分や周りの人の命を守るように考えることも大切です。

「**共助**」とは、地域の災害時要援護者の避難に協力したり、地域の方々と消火活動を行ったりするなど、周りの人たちと助け合うことです。**日頃から、地域の方々とのつながりを深め、常磐学区全体で、お互いの命を守りあっていくことが大切**になります。

「**公助**」とは、市役所、消防、警察、自衛隊などによる公的な支援のことです。常磐学区には消防団があったり、常磐小には防災倉庫があったりし、もしもの時に備えて様々な準備がなされています。また、常磐小の体育館は避難所となっており、地震が起きた時や台風や大雨で住む場所が危険になった時に、避難して安全を確保できるようになっています。

以上、地震や台風、洪水や雷など**自然災害に十分気を付け、家庭でも備えて**おきましょう。

2, 3年生に電子黒板の導入

2学期から上学年に加えて2,3年生にも電子黒板が導入されました。電子黒板は、静止画だけでなく動画やインタラクティブ(双方向に情報のやりとりができるシステム)なコンテンツも使用できるため、授業が視覚的に豊かになります。これにより、子供が学習内容を理解しやすくなり、学習効果が向上します。また、写真の2年生の授業にあるように、子供のタブレットと接続をすることで、電子黒板上で子供と教師が共同で作業することが可能になります。子供同士、または子供と教師がリアルタイムで意見を交換しながら授業を進めることで、より深い理解や新しいアイデアの創出が期待されます。**子供の学習意欲や理解力の向上を目指し**、電子黒板を有効に使いながら授業ができるよう教師も頑張っていきたいと思えます。



明日の10日(火)に、授業参観、夏休み作品展、学校保健委員会が行われます。ぜひご参観ください。